

# 令和4年度事業報告

## I 法人運営事業

### 1 会議

#### (1) 理事会

##### ◇第1回

時 期：令和4年5月

- 議 題：① 令和3年度事業報告（案）  
② 令和3年度決算報告（案）  
③ 諸規則等の一部改正（案）  
④ 評議員選任・解任委員会委員の選任（案）  
⑤ 定時評議員会の開催（案）

##### ◇第2回

時 期：令和5年3月

- 議 題：① 令和4年補正予算（案）  
② 令和5年度事業計画及び予算（案）  
③ エレベーター及び電話交換機等入替工事にともなう  
修繕積立金の取り崩し（案）  
④ 諸規程の一部改正（案）  
⑤ 役員等賠償責任保険契約の締結（案）  
⑥ 評議員会の開催（案）

#### (2) 評議員会

##### ◇第1回

時 期：令和4年6月

- 議 題：① 令和3年度事業報告（案）  
② 令和3年度決算報告（案）

##### ◇第2回

時 期：令和5年3月

- 議 題：① 令和4年補正予算（案）  
② 令和5年度事業計画及び予算（案）

- ③ エレベーター及び電話交換機等入替工事にともなう  
修繕積立金の取り崩し（案）  
【報告事項】諸規則の一部改正について

## 2 基盤整備

会員会費制度の確立

加入状況	個人会員	115人
	法人会員	5法人
	団体会員	35団体

## 3 広報・啓発

(1) 区社協広報紙「区社協だより」の発行

発行月 令和4年 7月（第68号）、10月（第69号）  
令和5年 2月（第70号）

発行部数 各34,500部

配布方法 新聞折込み、法人会員、善意銀行預託者、区内小学校・中学校、ボランティア・市民活動センター登録者に郵送、関係機関に配布・周知依頼

(2) 区の広報紙「広報ちゅうおう」による広報

発行日 毎月1日

内容 ①区社協通信：（啓発）介護予防「なにわ元気塾」等情報  
（事業）包括支援センター「認知症講演会」、  
ボランティアステップアップ講座等  
情報  
②各施設だより：東・南老人福祉センター、子ども・子育て  
プラザの取組み等情報

## 4 善意銀行の運営

皆様からの善意の金銭や物品をお預かり（預託）し、必要としている福祉関係機関・団体等に活用（払出）しました。

預託 31件（金銭 1件、物品30件）

払出 183件（金銭 26件、物品157件）

## II 地域福祉推進事業

### 1 地域社協支援事業

- (1) 地域社協助成金の交付  
地域社協に交付
- (2) 地域支援活動の推進  
地域住民の参加と協力による支え合い、助け合い活動を支援

### 2 ICTを活用した地域活動支援事業（桃谷地域協働実施）

- (1) 「スマホを勉強しボランティア講師になろう！」の開催  
・講座日：3月19日(日)、25日(土)  
(内容) Google レンズ、Wi-Fi とセキュリティ、LINEの便利機能
- (2) 桃谷スマホサポーター活動（活動は第2土曜10～11時）  
4月9日、6月11日、7月9日、9月10日、11月2日、12月10日、  
2月11日、3月11日  
なお、12月10日はスマホでの大阪市プレミアム商品券の使い方  
2月11日はPay payについてを実施

### 3 高齢者福祉（高齢者福祉月間）事業

- (1) 金婚夫婦観劇会  
日 時 令和4年9月15日（木）  
場 所 なんばグランド花月  
次 第 観劇、記念撮影、お祝い品贈呈  
参加申込 17組（昨年度27組）
- (2) 高齢者訪問  
訪 問 コロナ対策のためお祝い訪問は実施せず（お祝い品贈呈のみ）  
対 象 者 中央区在住の100歳を迎えられた方 19人
- (3) 敬老観劇会  
日 時 令和4年9月16日（金）  
場 所 なんばグランド花月  
参 加 者 吉本興業株式会社様のご厚意により70歳以上の方、合計148人  
を招待

### 4 障がい者福祉事業

#### 【W大阪招待イベント】

- |       |                            |
|-------|----------------------------|
| 日 時   | 令和4年11月23日（祝）              |
| 場 所   | W大阪                        |
| 対 象 者 | 平成17年4月1日以降に生まれた児童とそのご家族など |

参加人数	6組14人（保護者6人、お子様8人）
内 容	保護者様（W大阪館内見学、職業体験見学、親子でティータイム） お子様（職業体験（ナフキンたたみ、シルバー磨き、パンとケーキの仕上げ）

## 5 中央区子どもの居場所連絡会との協働

中央区内の子ども支援活動を行っている活動者や活動を支援する企業等との連絡会「中央区子どもの居場所連絡会」の事務局として子どもの居場所活動の情報共有、活動者への支援、子ども支援に関する問題解決に向けたイベントの企画・広報を実施

- ・幹事会7回、定例会6回
- ・南小学校フードパントリー  
日時：6月11日（土）10時～14時 125人来場  
場所：南小学校
- ・北御堂フードパントリー&ワークパントリー  
実施日：7月29日（金）・30日（土） 868人来場  
12月16日（金）・17日（土） 1,524人来場  
実施場所：本願寺津村別院（北御堂）
- ・きらめきクリスマスマーケット  
実施日：12月24日（土）  
実施場所：もりのみやキューズモールBASE

## 6 「中央区地域福祉ビジョン」の推進

中央区地域福祉アクションプランから継続して活動し地域福祉ビジョンへと引き継がれている活動の推進

### (1) 「HANDSちゅうおう」

- ・幹事会11回（8月休み）、定例会10回（8、12月休み）
- ・バリアフリー上映会  
日時：令和4年6月4日（土） 13時～15時30分  
内容：「心の傷を癒すということ」  
場所：J：COM中央区民センター  
参加者：111人
- ・10月9日（日）「空堀☆桃谷ふれ愛まつり」にてバザーを実施

### (2) 「子育て支援はぐ・スマイル」

- ・定例会 8月、2月 幹事会 7月、1月

各地域の子育てサークルなどで、防災意識の向上と地域とのつながりを作るための方法について検討

(3) 「中央区フィランソロピー懇談会（CFK）」

・幹事会・定例会（毎月1回ずつ区在宅サービスセンターとオンラインでのハイブリッド開催）

(4) はぐ・スマイル、HANDS ちゅうおう、CFK 3者合同イベント開催に向けた検討  
1月、3月各団体幹事等による打合せ

## 7 専門部会への協力

(1) 子育て支援専門部会への協力

(2) 自立支援協議会（障がい者専門部会）への協力

(3) 地域ケア会議の開催・参加

## 8 他機関との連携

(1) 子育て支援専門部会、地域自立支援協議会への協力

(2) 中央区子育て応援団、生涯学習等連絡会議への協力

## 9 地域福祉事業

車いす貸出事業

(1) 貸出延べ件数

個人 162人、 団体 4団体

(2) 地域社会福祉協議会への貸出状況

16台(令和5年3月現在)

(内訳) 愛日1台、集英2台、南大江2台、東平2台、金甌2台、  
大宝2台、道仁1台、河原2台、高津2台

## 10 職員研修（参加方法は、直接参加またはWEB参加）

(1) 大阪市社会福祉協議会、他団体主催の人権研修会への参加

(2) 各職種、業務担当別研修会への参加

## 11 その他

(1) 共同募金運動への協力

① 共同募金の受付と送金

② 共同募金配分金を地域社協、各種団体・事業へ配分し事業に活用

③ 歳末助け合い運動への協力

(2) 日本赤十字社社資募集や各種事業への協力

(3) 大阪市社会福祉大会

(大阪市長表彰)

バルーンアート同好会

年中夢求隊

(大阪市長感謝)

南 良知

梶川 和隆

柴田 裕旦

### Ⅲ 中央区ボランティア・市民活動センター

#### 1 運営・基盤事業

(1) ボランティア・市民活動センター運営委員会

①開催日：令和4年9月29日(木)

場 所：ふれあいセンターもも

議 題：・令和4年度の上半期報告

・令和4年度の下半期予定

・ボラセンパンフレットの作成について

②開催日：令和5年3月30日(木)

場 所：ふれあいセンターもも

議 題：・令和4年度の下半期報告

・令和5年度の年間計画について

・ボラセンパンフレットについて

#### 2 啓発・広報事業

(1) 「広報ちゅうおう」にボランティアスクール情報を掲載

(2) 「中央区社協だより」(年3回発行)にボランティア情報を掲載

(3) 区社協のホームページにボランティア募集・養成講座の広報を掲載

(4) 生涯学習関連施設連絡会「生涯学習フェスタ」にてボランティアスタートアップ講座を開催

#### 3 ボランティア養成事業

(1) 夏のボランティア体験(デイサービス夏まつり体験)(7名)

(2) 災害ボランティアちょこっと体験(31名)

(3) はじめの一步! ボランティアスタートアップ講座(10/8:12名、10/15:

13名、10/22：20名、10/29：41名(受講生11人+登録ボランティア30名))

#### 4 活動支援事業

- (1) パフォーマンスボランティア活動の支援 (活動のコーディネート)
- (2) 保育ボランティア活動の支援 (活動のコーディネート)
- (3) 団塊・シニア世代グループの支援 (月1回定例会・役員会の支援)
- (4) 古切手活動の支援 (定例活動12回)
- (5) エコキャップ活動の支援 (定例活動12回)
- (6) 区社協デイサービスでの活動の支援 (活動のコーディネート)
- (7) 音訳ボランティアグループの支援 (活動日調整)
- (8) 登録ボランティアグループの支援 (活動相談及び情報発信)
- (9) 子どもの居場所づくり(学習支援・子ども食堂)活動への支援
- (10) 福祉ボランティア活動応援資金の受付 (受付9件)
- (11) 登録ボランティアへの情報発信 (12回) 及び活動の需給調整

#### 5 その他事業

- (1) ボランティアの需給調整
- (2) ボランティア登録の面接及び受付
- (3) ボランティア保険の受付及び事務処理
- (4) 福祉教育の実施 (当事者の話、車いす・アイマスク体験等 合計5回)

#### 6 協働・共催事業について

- (1) 中央区フィランソロピー懇談会の支援
- (2) 中央区生涯学習関連施設連絡会への参画 (中央区役所)

#### 7 ボランティア登録数 (令和5年3月末現在)

個人：169名      グループ：34グループ

## IV 地域における要援護者の見守りネットワーク強化事業

少子高齢化の進行や社会経済情勢の変化、地域におけるつながりの希薄化などを背景に、いわゆる「孤独死」に代表されるような社会的孤立など地域における生活課題は深刻化しています。このような課題に対応していくために、大阪市では「地域における要援護者の見守りネットワーク強化事業」が平成27年度より開始され、本会に「見守り相談室」を開設しました。

「見守り相談室」では、区役所と協働し、誰もが住み慣れた地域で孤立することなく安心して生活できるよう、3つの機能を持ったこの事業に取り組みました。

### 事業内容

#### 機能① 要援護者名簿に係る同意確認・名簿整備

行政情報を基に同意書を送付し、同意確認の取れた要支援者の名簿を地域の見守りや災害時の要援護者名簿として提供する。

同意書送付数	同意	不同意	回収率	地域提供リスト総数
1, 067	250	241	46.01%	987

#### 機能②

見守り支援ネットワークによる孤立世帯への専門的対応支援につながらず地域の中で埋もれている要援護者や孤立死のリスクを抱える要援護者等の相談支援

##### (1) 個別相談実施状況

・訪問による相談・支援延件数	335件
・電話による相談・支援延件数	935件
・来所による相談・支援延件数	96件
・その他	188件
計	1,554件

##### (2) 主な相談支援内容

・経済・生活問題	367件
・保健・医療	173件
・子育て	12件
・いきがづくり	8件
・家族・家庭	24件
・ゴミ屋敷	39件
・福祉サービス	415件



・介護	49件
・就労	0件
・虐待	4件
・見守り訪問	987件
・その他	313件
計	2,391件

### 機能③ 認知症高齢者等の行方不明時の早期発見

認知症高齢等に対する見守りネットワークを構築し、行方不明になった場合に早期発見・保護につなげる仕組みを構築する。

民生委員と地域福祉コーディネーターや介護事業所・金融機関等が協力者として登録している。

#### 見守りメール協力者数

民生委員	地域福祉 コーディネーター	その他 (介護事業所他)	合計
82人	16人	105人	203人

## V 地域福祉見守り活動事業

中央区の独自事業として、地域社協ごとに「地域福祉コーディネーター」を配置し、65歳以上の高齢者、障がい者等の要援護世帯に対し、福祉相談や定期的な訪問を行い、ニーズの把握に努めました。また、「地域における要援護者の見守りネットワーク強化事業」により、把握した新たな要援護者についても、民生委員と連携し、見守り活動を行いました。

#### <事業内容>

- ① 福祉相談や日常的な見守り
- ② 関係機関への連絡調整
- ③ その他、地域福祉見守り活動の推進に関すること

#### <相談件数>

訪問による相談延件数	6,069件
電話による相談延件数	2,914件
来所による相談延件数	5,259件
その他	1,358件
合計	15,600件

<主な相談内容>

生活上のこと	10,489件
家族のこと	387件
家族介護のこと	1,623件
その他	3,101件
合計	15,600件

○ 地域福祉コーディネーターの活動支援

①地域福祉コーディネーター連絡会 ※定例開催 計7回

開催日時 隔月第2木曜日

場 所 ふれあいセンターもも

主な内容 各地域の見守り活動の情報交換、意見交換、事務連絡等

②地域福祉コーディネーター研修会 (計4回)

○ 広報・啓発

「見守り協力者連絡会」において、参加者へ啓発物品を配付

○ 認知症サポーター養成講座の実施

厚生労働省の「認知症を知り地域をつくる」キャンペーンとしての「認知症サポーター養成講座」は、認知症について正しい知識をもち、認知症の方や家族を支援し、誰もが暮らしやすい地域づくりにご協力いただくボランティアを養成する活動で、認知症サポーターには「認知症サポーターカード」をお渡ししています。

<令和4年度実施状況>

対象者 区内在住または在勤で認知症について関心のある個人  
学校・団体・企業など

開催回数 25回

受講者数 505名

キャラバン・メイト連絡会の開催 6回

## VI 生活福祉資金貸付事業

大阪市社会福祉協議会の委託を受けて生活福祉資金貸付業務を開始し、低所得者、障がい者または高齢者の世帯に対し、資金の貸付と必要な支援を行い、経済的自立及び生活意欲の助長促進ならびに社会参加の促進を図るなど安定した生活を送れるように実施しました。

### (1) 通常の貸付

種類 \ 件数	相談件数(延べ)
緊急小口資金	55件
総合支援資金	7件
生活福祉資金	50件
教育支援資金	40件

### (2) 新型コロナウイルス感染症特例貸付（令和4年4月～令和4年9月）

相談件数 (件)

	電話相談	窓口相談	相談合計
緊急小口資金	160	156	316
総合支援資金	162	290	452
合計	322	446	768

申請件数 (件)

	申請数
緊急小口資金	301
総合支援資金	260
合計	561

償還に関する相談（令和4年10月～令和5年3月）

(件)

	電話相談	窓口相談	相談合計
償還に関する 相談・問合せ	171	119	290

## VII 生活困窮者自立相談支援事業

平成27年度から大阪市の委託を受けて生活困窮者自立相談支援業務を区役所4階で行っています。生活困窮者が抱える多様で複合的な問題について、生活困窮者及び生活困窮者の家族その他の関係者からの相談に応じ、必要な情報提供及び助言並びに関係機関との連絡調整を行うとともに、生活困窮者に対する支援の種類及び内容等を記載した計画の作成、生活困窮者に対する様々な支援を包括的かつ計画的に行うことにより、生活困窮者の自立の促進を図ることを目的とし、断らない相談支援の体制づくりに取り組みました。

相談件数	<p>新規相談件数：801件          継続支援数：163件          相談者の傾向：          年齢層も幅広く10代から90代まで相談があった。          外国籍の方の相談が18%程になっている。          住居確保給付金についての相談は令和2.3年度に比べ減少傾向ではあるが、電話で102件、対面で195件、制度の説明を行っている状況である。他の相談は経済的な困窮という訴えが多く、お金を貸してほしいという訴えから相談につながるが多い。家を失い中央区のネットカフェ等で過ごし所持金が底をついて相談につながるケースや、社会的孤立として、家族からひきこもりの家族の相談等があった。</p>												
対応	<p>情報提供のみ 570件          他機関への連絡・調整 93件          (生活保護・生活福祉資金貸付・社会貢献・食糧支援・弁護士相談など)</p>												
支援決定・確認	<p>支援内容(延べ件数・再プラン含)</p> <table border="0"> <tr> <td>総合就職サポート</td> <td>39件</td> </tr> <tr> <td>ハローワーク</td> <td>11件</td> </tr> <tr> <td>住居確保給付金(受給決定者)</td> <td>45件</td> </tr> <tr> <td>家計相談支援</td> <td>3件</td> </tr> <tr> <td>就労準備支援</td> <td>2件</td> </tr> <tr> <td>認定訓練事業</td> <td>1件</td> </tr> </table>	総合就職サポート	39件	ハローワーク	11件	住居確保給付金(受給決定者)	45件	家計相談支援	3件	就労準備支援	2件	認定訓練事業	1件
総合就職サポート	39件												
ハローワーク	11件												
住居確保給付金(受給決定者)	45件												
家計相談支援	3件												
就労準備支援	2件												
認定訓練事業	1件												
食糧支援	<table border="0"> <tr> <td>相談件数</td> <td>50件</td> </tr> <tr> <td>フードバンク依頼</td> <td>3件</td> </tr> </table>	相談件数	50件	フードバンク依頼	3件								
相談件数	50件												
フードバンク依頼	3件												
社会貢献事業相談・利用	<table border="0"> <tr> <td>相談件数</td> <td>2件</td> </tr> <tr> <td>利用件数</td> <td>0件</td> </tr> </table>	相談件数	2件	利用件数	0件								
相談件数	2件												
利用件数	0件												
広報活動	<p>・大阪東公共職業安定所、区役所保健福祉情報コーナー、肢体不自由者協会、区社協、子育てプラザ、東老人センター、南老人センター、地域の会館等へのチラシの設置</p>												

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療機関、コンビニエンスストア、ドラッグストア、ネットカフェへのチラシの配布、いきいき、包括連絡会参加と事業周知。住居確保給付金相談者にチラシの配布</li> </ul>
活動の特徴	<p>断らない相談支援の体制を強化するため、窓口でまず相談を聞き、関係機関と連携できるように努めた。住居確保給付金の相談や申請受付対応、求職活動報告への対応はコロナ禍のなか増加状況から高値で継続している状況であったが、少しでも制度が周知できるように中央区独自のチラシ、ポスターの配架先を拡充し周知を広げ広報活動を行った結果ネットカフェや関係機関からの相談も増加した。</p> <p>また、支援調整会議の定期開催を充実させ、支援の内容を共有することと、法人として地域課題を考えることができた。住むところがなく、窓口閉庁時間に来所する相談者への対応が課題となっている。</p>

### 【年代別相談内容一例】

10代	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アルバイトを探したい。</li> <li>・食べるものがない。</li> </ul>
20代	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住居確保給付金を申請したい。</li> <li>・退職後仕事が見つからない。</li> <li>・家賃の支払いができず、追い出される。</li> <li>・住むところがない。</li> <li>・食べるものがない。</li> <li>・体調が悪く仕事に行けない。収入がない。</li> <li>・失業保険が入るまでの生活費がない。</li> </ul>
30代	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームレス、ネットカフェ生活。宿泊先の提供希望</li> <li>・仕事が決まらず、ライフラインが止まる。</li> <li>・生活保護にはなりたくない。他に給付金を知りたい。</li> <li>・仕事がなく食べるものがない。</li> <li>・離職後必要な手続きを知りたい。</li> </ul>
40代	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家賃の支払いができない。</li> <li>・自立支援センターに入所したくない。</li> <li>・コロナの影響で倒産、離職した。</li> <li>・出産後住むところがない。</li> <li>・お金がなく、精神的に辛く生活保護を申請したい。</li> <li>・住居確保給付金を受給したい。</li> </ul>
50代	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仕事や転職について</li> </ul>

50代	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家賃滞納・家賃やローンの支払いについて</li> <li>・葬儀費用がない。</li> <li>・子どもの学費が払えない。</li> <li>・病院に行きたいが保険証もなくお金がない。</li> <li>・家族との関係について</li> <li>・コロナ特例貸付償還免除・コロナ自立支援金について</li> <li>・仕事を見つけたくても日本語がわからない。</li> <li>・生活保護の相談をしたい。</li> </ul>
60代	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仕事がなく、収入がない。</li> <li>・体調が悪い。</li> <li>・ヘルパーのことで相談したい。</li> <li>・コロナの影響で客足もへり家賃等の支払いができない。</li> <li>・生活支援金・国民健康保険料、府民税支払いについて</li> <li>・コロナ特例貸付償還免除・コロナ自立支援金について</li> <li>・会社を解雇されたので、年金しかなく暮らせない。</li> <li>・生活保護を申請したい。</li> </ul>
70代	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住居確保給付金について</li> <li>・地域との関係について</li> <li>・住むところがない。</li> <li>・親族間の関係について</li> <li>・公共料金が支払えない。</li> <li>・入院費用について</li> <li>・病気になって生活できない。</li> <li>・生活保護の申請について</li> </ul>

## VIII あんしんさぽーと事業(日常生活自立支援事業)

認知症、知的障がい、精神障がいなどにより、判断能力が不十分な方や金銭管理に不安のある一人暮らしの高齢者で、大阪市内に在住し、かつ契約時に意思の確認ができる方を対象に、相談から契約、福祉サービス等利用援助及び日常的な金銭管理、書類預かりサービス等を実施しました。

＜サービス利用料＞

	金銭管理サービス	預かりサービス
市民税課税者	1回 900円	年間 3,000円 (月250円)
市民税非課税者	1回 600円	
生活保護受給者	無料	無料

<利用状況>

	相談件数	委任契約 締結件数	委任契約 終了件数	年度末 利用件数
認知症・高齢者等	1,472	3	4	25
知的障がい者等	178	2	0	5
精神障がい者等	240	0	2	2
その他	56	0	0	0
計	1,946	5	6	32

## IX 生活支援体制整備事業

介護が必要な状態になっても慣れ親しんだ地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、高齢者の健康寿命延伸に向けて日頃からの地域とのつながりづくりや社会参加を促すために介護予防に関わる地域の集いの場づくりの後方支援を行いました。また、ちょっとしたお困りごとを住民同士で助けあえる仕組み作りの検討をしました。

区域において取組みを進めると共に、日常生活圏域における第2層生活支援コーディネーターを配置し、より地域の特性やニーズに応じた取組みを進めています。

### 〈実施内容〉

- 1 ニーズ調査、地域資源の把握
  - ・地域活動一覧のデータ化
  - ・地域座談会の開催、参加
- 2 地域資源・活動の情報周知
  - ・中央区シニア知っトク帳更新準備、地域活動一覧冊子の更新準備
  - ・百のおたより年1回発行
- 3 地域資源・活動の立ち上げ支援、継続支援
  - ・けん玉教室の開催
  - ・百歳体操の立ち上げ支援
  - ・フレイル予防ウォーキンググループの活動支援
  - ・ヘルスチェック
  - ・お試しボランティア活動の実施
- 4 多様な活動主体とのネットワークの構築・協働
  - ・第1層協議体の運営及び協議体会議の開催 年1回開催

(参加者) 中央区役所、中央区地域包括支援センター、中央区北部地域包括支援センター、中央区東南老人福祉センター

開催日 令和5年3月9日(木)

議 題 (1) 令和4年度生活支援体制整備事業の取組み報告  
(2) 2層協議体について

・第2層協議体の運営及び協議体会議の開催

◇旧東区圏域 年3回開催

「地域にあったらいいな」を考える会

開催日 令和4年11月21日(月)

開催場所 玉造会館

開催日 令和5年2月20日(月)

開催場所 コーシャハイツ法円坂

開催日 令和5年2月27日(月)

開催場所 南大江会館

◇旧南区圏域 年5回開催

「生活支援活動」を考える会

◇第1回

開催日 令和4年5月18日(水)

議 題 他区の有償活動について知り中央区内の各アンケートから検討

◇第2回

開催日 令和4年8月25日(木)

議 題 お試しボランティア活動体験について提案

◇第3回

開催日 令和4年9月8日(木)

議 題 お試しボランティア活動体験の基盤づくり

《令和4年11月 第1弾 お試しボランティア活動開始》

◇第4回

開催日 令和4年12月15日(木)

議 題 お試しボランティア活動報告と検討

◇第5回

開催日 令和5年1月26日(木)

議 題 第2弾 お試しボランティア活動について

《令和5年3～4月 第2弾 お試しボランティア活動開始》



## X 通所介護事業(デイサービス)

介護保険のサービスとして、介護認定を受けられた方を対象に、入浴、食事の提供やレクリエーションなどの機能訓練を行い、心身機能の低下を防ぐとともに、ご家族の介護負担の軽減を図りました。

### (1) 事業内容

- |                |                 |
|----------------|-----------------|
| ① 入浴サービス       | ② 食事サービス        |
| ③ 生活指導(相談・助言等) | ④ 機能訓練、レクリエーション |
| ⑤ 健康チェック       | ⑥ 送迎            |

### (2) 利用料

介護報酬の告知上の金額(大阪市域適用額)

参考：要介護1の場合、1日単位(7時間以上8時間未満)で8,468円(入浴代含む) 自己負担分：847円(令和5年4月現在)

食事代 700円

### (3) 利用状況(令和5年3月末現在)

登録者数：40名

開設日数：246日

介護度別延べ利用者数：341人

要支援1	22人	要支援2	33人		
要介護1	76人	要介護2	64人	要介護3	26人
要介護4	14人	要介護5	10人		

## XI 介護予防事業

65歳以上の高齢者を対象に、できる限り自分らしく生き生きと暮らしていただくため、生活機能の低下を防ぎ、要介護・要支援状態にならないよう介護予防事業を実施しました。新型コロナウイルス感染の拡大により個別の対応も行いました。

### <事業内容>

大阪市なにわ元気塾(介護予防教室事業)

65歳以上の高齢者を対象に地域の集会所など参加しやすい場所で、創作活動や運動、レクリエーションなど多彩なプログラムを行い自宅で閉じこもりがちな高齢者の外出支援として実施しました。

- ① 登録者数 229人  
 ② 開設回数（会館） 132回  
 参加者数 1,645人

※ 令和4年度はコロナの影響により、会館では少人数での開設をおこない、会館でできない場合は別日を設けての開設など、感染予防に努めながらすべての会館で実施しました。 ※渥美・芦池地域は合同開催

地域名	登録者数 (実人数)	実施回数	延べ 参加者数
桃 谷	22人	12回	141人
桃 園	29人	12回	234人
東 平	28人	12回	182人
玉 造	33人	12回	230人
南大江	37人	12回	243人
開平東	15人	12回	104人
金 甌	15人	12回	139人
中大江	14人	12回	89人
渥美・芦池	8人	12回	52人
御 津	13人	12回	103人
道 仁	15人	12回	128人

## XII 地域包括支援センター事業

地域の高齢者の方が、住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、関係機関や地域、行政と連携しながら実施しました。新型コロナウイルス感染症対応も3年目に入り、会議の多くはウェブ開催や集合型との併用等、工夫しながら開催しました。感染状況を見ながら、徐々に地域に出向くことができるようになりました。

### 1 包括的支援事業

#### (1) 総合相談支援

高齢者やその家族からの介護・福祉の相談を総合的に受け、電話や訪問による実態把握を行い、介護保険や福祉、保健、医療等必要なサービスにつなげるなど、相談内容に応じた支援をしました。コロナ感染拡大の影響で昨年度は相談数が減少しましたが、今年度は増加となりました。

<総合相談実績>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
訪問・出張	84	73	95	59	65	67	58	70	88	80	63	69	871
電話	357	303	358	378	388	327	402	406	480	434	452	400	4685
来所	57	57	70	64	46	62	82	68	52	56	51	101	766
その他	25	25	24	39	15	20	22	25	32	16	17	23	283
合計	523	458	547	540	514	476	564	569	652	586	583	593	6605

(相談実人数) 784人(前年度738人)

(その他) 簡易な相談 51件(前年度73件)

<相談内容の内訳>

	令和4年度	令和3年度
家族・家庭問題	234	127
経済・生活問題	1,595	1,843
介護サービスに関する事	2,870	1,948
介護予防サービスに関する事	715	851
介護予防事業に関する事	14	34
福祉サービスに関する事	70	64
保健・医療サービスに関する事	386	367
虐待に関する事	461	228
成年後見制度の活用に関する事	108	133
生きがいづくり	7	3
その他	145	113

(2) 虐待の早期発見・防止などの権利擁護

虐待防止に取り組みながら、高齢者虐待の相談、通報窓口として支援を行いました。

① 虐待の早期発見・防止のための活動

新規対応件数 13件(内 虐待と判断5件、虐待と判断せず8件)

② 成年後見制度の利用に向けた活動

③ 消費者被害防止のための情報提供などの活動

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援

高齢者に対し自立に向けた包括的かつ継続的なケアマネジメントが提供されるよう介護支援専門員の後方支援を行いました。また、専門職の横のつながりや職種を越えた連携強化のため、各種連絡会事務局として会議を開催しました。

<会議開催・参加状況>

地域ケア会議（個別ケア会議17回　まとめケア会議2回　振り返りケア会議2回　自立支援型検討会議12回）	33回
地域密着型サービス運営推進会議への参加（グループホームさざなみ松屋町、グループホームフレンド大阪中央）	参加1回 書面5回
地域密着型デイサービス運営推進会議への参加・書面による意見（区在宅サービスセンター、こころ上汐）	参加3回
その他ネットワーク構築のための会議開催及び参加	136回
地域包括支援センター区運営協議会（活動報告会を含む）	4回
サービス利用調整会議（高齢者虐待）	43回
地域等との関係づくり	34回

<包括的継続的ケアマネジメント>

介護支援専門員個別相談件数	1,238件
居宅介護支援事業者連絡会（連絡会6回・幹事会6回）	12回
介護支援専門員への研修会	18回
主任介護支援専門員研修会	5回
新人介護支援専門員向け研修会　わかばタイム	7回

<その他ネットワーク構築のために開催した会議・参加した会議>

訪問介護事業者連絡会/訪問看護事業者管理者会/通所介護事業者連絡会/グループホーム連絡会/障がい者高齢者虐待防止連絡会議/障がい者生活支援センターいきいき連携会議/地域福祉コーディネーター連絡会/認知症施策推進会議、中央区在宅医療介護連携相談支援室情報交換会議/在宅医療・介護連携推進協議会会議など

(4) 第1号介護予防支援事業

要支援と認定された方が介護保険サービスを利用される際のケアマネジメント業務を実施します。インフォーマルサービス情報の共有などを通じて要支援者が自身の能力を最大限生かしつつ在宅生活を送れるよう支援しています。

第1号介護予防支援ケアプラン作成数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
包括作成	23	23	25	23	24	27	24	26	29	30	28	31	313
一部委託	95	95	98	92	92	92	88	86	89	85	81	84	1,077
総数	118	118	123	115	116	119	112	112	118	115	109	115	1,390

介護予防ケアプラン作成数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
包括作成	28	32	35	40	46	49	49	51	54	50	50	54	538
一部委託	214	204	206	198	187	182	182	173	171	168	165	165	2,215
総数	242	236	241	238	233	231	231	224	22	218	215	219	2,753

## 2 出前講座・相談会・座談会

コロナ感染拡大の波をぬって、あるいは感染予防をしながら開催しました。集合形態ばかりではなく、会館に来られた方に声をかけつつ啓発リーフレットを渡すなど自宅で学びを深めてもらえるよう工夫しました。また高齢者の課題の共有、福祉コミュニティの形成に向けて地域住民が話し合う場として座談会を開催しました。

### <出前講座>

地域	開催日	テーマ・内容	主な参加者	人数
桃谷	7月23日	熱中症と感染症について	歌声のつどい参加者	22
桃谷	8月23日	体力測定・健康づくり、包括の周知	桃谷ヘルスチェック参加者	35
桃谷	11月15日	包括支援センターって!?	地域住民	32
桃谷	11月22日	体力測定・健康づくり、包括の周知	桃谷ヘルスチェック参加者	39
桃谷	2月28日	体力測定・健康づくり、包括の周知	桃谷ヘルスチェック参加者	44
東平	3月24日	体力測定・健康づくり、包括の周知	東平ヘルスチェック参加者	41
金甌	10月4日	包括周知、食事チェックシート	ふれあい喫茶、スマホ教室	13
金甌	3月13日	フレイル予防	百歳体操参加者	13
渥美	10月12日	包括周知	介護予防教室参加者	7
芦池	6月17日	シニア知っ得帳、熱中症チラシ配布	百体体操参加者	9
芦池	9月21日	認知症サポーター養成講座	住民、ネイリスト協会	20
御津	10月3日	フレイル予防について	百体体操参加者	11
大宝	6月16日	シニア知っ得帳、熱中症チラシ配布	サイエンス・カフェ参加者	22
大宝	10月21日	包括周知	サイエンス・カフェ参加者	17
大宝	3月17日	フレイル予防チラシ配布	サイエンス・カフェ参加者	12
道仁	10月11日	介護保険について	百歳体操参加者	22
高津	9月2日	熱中症チラシ、シニア知っ得帳配布	食事サービス参加者	68
高津	9月4日	「認知症の対応について」	ふれあい喫茶参加者	63
高津	9月9日	シニア知っ得帳配布、食事チェックシート	食事サービス参加者	68
高津	9月16日	緊急通報システム、悪質商法について	食事サービス参加者	71
高津	9月30日	高齢者虐待、防火について	食事サービス参加者	69
精華	6月25日	包括周知	町会長会議参加者	23
河原	11月10日	包括周知	介護予防教室参加者	7
合計				728

<座談会>

地域	開催日	内容	開催場所	人数
桃園	5月20日	第22回 桃園座談会	桃園会館	14
	8月19日	第23回 桃園座談会	桃園会館	17
	2月17日	第25回 桃園座談会	桃園会館	17
	7月15日	桃園地域見守り声かけ訓練 第1回実行委員会	桃園会館	7
	9月21日	桃園地域見守り声かけ訓練 第2回実行委員会	桃園会館	8
	10月21日	第6回 桃園地域 見守り声かけ訓練	桃園会館	33
桃谷	5月28日	桃谷地域見守り会議	中央区在宅SS	23
	10月 6日	桃谷地域北西町会見守り会議	中央区在宅SS	21
	10月14日	桃谷地域見守り会議	中央区在宅SS	22
	12月 1日	桃谷地域北西町会見守り会議	中央区在宅SS	22
	2月16日	桃谷地域北西町会見守り会議	中央区在宅SS	19
	3月23日	桃谷地域見守り会議	中央区在宅SS	20
大宝	5月20日	第1回 大宝ふれあいこみっと	大宝会館	16
高津	11月11日	高津ふれあいサミット打合せ	ドーム高津	10
	2月 7日	高津ふれあいサミット打合せ	ドーム高津	11
	2月25日	第3回高津ふれあいサミット	ドーム高津	22
	3月 7日	高津ふれあいサミット振り返り	ドーム高津	8
合計				290

<行事やイベント、事業所での周知・啓発>

場所	開催日	内容	対象	人数
南老人福祉センター	8月30日	出前講座「介護予防体操」	センター利用者	12
中央区在宅SC	3月15日	出前講座「認知症について」	医療生協桃谷支部	21
オンライン開催	3月16日	認知症サポーター養成講座	病院ボランティア協会	14
合計				47

### 3 家族介護支援事業関係

#### (1) 家族介護支援事業

映画上映会を Web 配信及び会場で実施しました。

内容	実施日	参加人数
映画上映会 「徘徊ママリン87歳の夏」	8月9日	オンライン 42名 会場 47名

(2) 家族介護の会「やすらぎ」

毎月第1水曜日 計11回開催

高齢者を介護する家族等が集まり、福祉サービスや自主防災、ストレッチ体操など各回に役立つテーマを取り入れ、相互の情報交換や専門職による勉強会を行いました。

4 中央区認知症高齢者支援ネットワーク連携会議（C o C o ネットちゅうおう）

認知症になっても安心して地域で暮らし続けられるまちづくりのため、関係者が情報や現状、課題を共有し、取組みを行っています。

(1) 会議

	開催日	人数
第1回	令和4年5月31日（火）	16
第2回	令和5年1月17日（火）	19

(2) 認知症講演会

開催日 令和4年9月13日（火）

場 所 中央区民センター及びWeb配信で開催

内 容 講演「認知症についての心構えあれこれ」

講 師 ほくとクリニック 深尾 晃三氏、中出 陽人氏

対 象 区民

参加者 36名（会場18名、オンライン18名）

5 大阪府中央区地域ケア研究集会

平成23年度より、中央区内の医療・介護の多職種連携強化をめざして研修会を開催しています。（オンライン、会場のハイブリッド形式で実施）

開催日 令和4年12月3日（土） 14時～17時

内 容 第1部 講演「脳卒中！ならへんためになってもたら」

講師 国立病院機構大阪医療センター 山上 宏氏

第2部 事例・活動報告「脳卒中の方の在宅生活を支えるケア・リハビリ・予防のとりくみ」

第3部 グループワーク「脳卒中の方を支える地域連携」

対 象 中央区にて医療・福祉に携わる専門職

参加者 152人

## 6 地域包括ケア実現に向けた地域・多職種連携会議

### <地域診断会>

開催日	内容	開催場所	人数
5月19日	・多職種情報交換	区在宅 SC	14
9月15日	・地域に向けた取り組みの検討、開催	区在宅 SC	12
1月19日		区在宅 SC	13
3月16日		区在宅 SC	12

### <生活支援体制整備事業 協議体>

開催日	会議名/その他	人数
5月18日	第1回 第2層 協議体会議 生活支援活動について考える会	10
8月25日	第2回 第2層 協議体会議 生活支援活動について考える会	12
9月8日	第3回 第2層 協議体会議 生活支援活動について考える会	6
12月15日	第4回 第2層 協議体会議 生活支援活動について考える会	10

## XIII 老人福祉センター管理運営事業

中央区社会福祉協議会は、大阪市より平成31年4月からの5年間、東・南老人福祉センター2館の指定管理者の指定を受け、管理運営を行っています。

「高齢者が住み慣れた地域で、生きがいを持って、安全・安心に暮らせるまちづくり」の実現を、法人と一体となって、地域の高齢者（60歳以上の方）が健やかで、明るい生活を送っていただけるよう、生きがいづくり、健康づくり、仲間づくり、社会参加と地域福祉活動の拠点としての役割を果たしています。

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、利用者同士が接触したり飛沫感染の恐れがある同好会は休止になりましたが、それ以外の同好会は、感染対策を万全にして活動しました。また生きがいと健康づくり推進事業については、「いきいき発表会」「一休グラウンド大会」「ウインターコンサート」「落語を楽しむ会」の4つの合同事業を人数制限したうえで実施し好評でした。その他、令和4年度の取り組んだ事業は次のとおりです。



●重点的に取り組んだ事業

- (1) 高齢者の生きがいくくりと地域活動への参画支援
- (2) 健康づくりと介護予防の促進
- (3) 相談・情報機能の充実
- (4) 世代間交流の推進
- (5) 合同事業と生きがいと健康づくり総合推進事業の推進

<施設利用状況>

1 中央区東老人福祉センター

延べ利用人数 10,251人 (内訳男:2,489人 女:7,762人)

内 容		回数	参加人数	備 考
生きがいくくり活動		559	6,099人	
	センター主催 講座・講習会	36	1,560人	脳トレ,すこやかマッサージ ラジオ体操等
	同好会活動支援	418	3,831人	水墨画 木版画 詩吟 俳句 他35同好会
	生きがい探求講座	105	708人	ボランティア、ガラスアート、 絵手紙他
世代間交流事業		2	71人	冬のおまつり(対面なし掲示 板での実施)クリスマス会
健康づくりと介護予防の促進		318	2,570人	
	在宅医療	4	71人	東医師会
	健康づくり講座	11	224人	介護予防教室、ヤクルト健康 セミナー、認知症は怖くない 等
	健康体力づくり行事	303	2,275人	歴史と健康ウォーキング シニアエクササイズ,百歳体 操他
総合相談講演会		1	10人	ゼロコンテスト表彰式,講話 「交通安全講習会」他
合同行事		5	347人	
合同行事		5	347人	いきいき発表会、囲碁・将棋 大会、コンサート、上方落語 等
その他行事		8	153人	お誕生会、落語会他
施設利用等		—	1,001人	老人クラブ会議 来館者他
総 数		893	10,251人	

## 2 中央区南老人福祉センター

延べ利用人数 9, 365人 (内訳: 男2, 519人 女: 6, 846人)

分類	回数	参加人数	備考
生きがいづくり活動	597	4,379人	
センター主催 講座・講習会	298	2,429人	シニア向けスマホ講座、数独
同好会活動支援	296	1,908人	教室12、同好会2他
生きがい探求講座	3	42人	高齢者の食生活について他
世代間交流事業	15	463人	おもちゃ病院、将棋大会他
健康づくりと介護予防の促進	351	2,662人	
健康づくり講座	6	107人	腸活元気チャレンジ
健康体力づくり行事	345	2,555人	ウォーキング、百歳体操他
合同行事	5	351人	
合同行事	5	351人	囲碁将棋大会他
その他行事	13	179人	弦楽四重奏による生演奏他
施設利用等	—	1,331人	老人クラブ連合会会議、業者他
総数	981	9,365人	

## XIV 子ども・子育てプラザ事業

大阪市子育て活動支援事業他2事業<中央区>を、大阪市より令和4年から5年間受託し「中央区子ども・子育てプラザ」を運営しています。

前年の令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から大きな制限下での運営でした。令和4年度は定員の微増や制限していたイベントの開講など、徐々に活動を広げた1年となりました。

### 1 子育て活動支援事業

区内の子育て活動者と協働で作成する「わいわいねっと新聞」を中心に継続的に情報の提供発信に努めました。編集会議のメンバーが増え、課題検討もできました。

親子で楽しむ内容(音楽や体操、英語等)、初めてののお産を迎える夫婦を対象にした内容の講座を幅広く開講しました。小中学生の自由な遊び場での利用者は令和3年度が942人から令和4年度は1,651人に増えました。

項目	累計	
(1) 子育て情報の収集・提供(発行部数)	発行部数	39,149部
(2) 自主的な子育て活動支援	支援回数	36回
	支援人数	343人

(3)子育て中の親子の支援	相談件数	21件
	支援回数	124回
	支援人数	1,247人
(4)児童の健全育成支援	支援回数	349回
	支援人数	1,651人
(5)地域関連事業	事業・行事数	28回
	参加人数	673人
(6)その他（区事業）	事業実施回数	79回
	参加人数	1,818人
(7)その他（一般利用）	利用回数	199回
	参加人数	2,393人
	来館対応人数	278人

## 2 ファミリー・サポート・センター事業

子育てを支援してほしい依頼会員と子育てを支援する提供会員の会員制による、有償ボランティアのコーディネート事業です。依頼・提供のペア数は令和3年度が66件から令和4年度は100件に増えました。

項目	累計	
(1)サブリーダー会議	実施回数	3回
(2)交流会・学習会	実施回数	2回
	参加人数	31人
(3)会報の発行	発行部数	960部
(4)来館対応	来館対応人数	924人
	(内ペアリング件数)	(100件)

## 3 地域子育て支援拠点事業

乳幼児とその親の交流の場では、年度途中から午前・午後の2枠とも25名満員となる日も多く令和3年度の4,820人から令和4年度は7,235人と大幅に増加しました。それに伴い相談件数も令和3年度の608件から令和4年度は1,015件と増加しました。発育や子育て中の悩み等に寄り添い必要に応じて情報提供や専門窓口へとつなぎました。

項目	累計	
(1)交流の場の提供と促進	参加人数：大人	3,580人
	参加人数：こども	3,655人
	開設日時	245日

(2)相談と援助	相談件数	1,015件
(3)子育て支援講習	実施回数	52回
(4)ブックスタート	実施回数	12回

<b>1.2.3事業利用人数総計</b>	<b>16,593人</b>
----------------------	----------------